

ぎんれいゆ会 平成三十年九月

布草履あうらになじむ今朝の秋

主宰 細野恵久 福祉三期

畑の畝真直に立てて涼新た

増田和子 食文一期

新涼をのせる謡や波の上

改正節夫 国際三期

太梁に白木の補修涼新た

三枝邦光 美工五期

枕木に足らぬ歩幅や秋の蟬

國永靖子 音文六期

下したて長靴濡らす今朝の秋

猿橋二三雄 福祉八期

太夫に汗太棹撥ねて木偶びくり

加藤善巳 美工八期

待合に目を閉じをれば夏が逝く

太田 實 国際十期

今朝の秋サラダに摘めるバジルの香

大下絹子 国際十五期

こんがりとパン焼きあがる今朝の秋

中村建生 国際十五期

台風の目におりますと電話中

藤本武子 国際十五期

足湯して下界展望秋日和

山下 進 国際十五期

鱒焼く倉庫の隅の古七輪

許斐國照 食文十五期

鱗雲うろこになれず日暮れけり

小淵政子 健福十六期

耳元へ蝶のグッバイ今朝の秋

兼清久子 健福十七期

子等去りぬシーツ丸めて今朝の秋

沖本元辺子 国際十七期

一筆の墨のかすれや涼新た

香春早苗 国際十七期

ひと刷毛の雲を目で追ふ今朝の秋

仲田慎輔 国際十七期

礼状を急ぎ投函涼新た

中村富美子 国際十七期

有明の月のうすれに今朝の秋

宮本眞貴子 国際十七期

秋暑し外語飛び交ふ交差点

小栗恭子 健福十八期

長靴履く祖父の帰りは瓜の馬

潮江敏弘 健福十八期

身に入むや癌腫を隠す友の笑み

野見山剛 健福十八期

帰省子の車路上を埋める街

大山吉春 国際十八期

兜虫もんどり打つて闇に入る

今井義和 美工二十期

雷鳥の羽搏き不意に風雨中

尾崎育久 美工二十一期

杵を打つ音のしそうな秋の月

黒木早苗 食文二十一期

朝顔の観察任せ皆旅行

宮脇暁美 食文二十二期

桜葉の一葉色づく今朝の

藤川敏子 国際二十二期

腕さするノースリーブの今朝の秋

大歳敏子 健福二十二期

こぼるるにませ白萩垣のそと

大田直子 生環二十二期

第二百五十三回ぎんれい句会（九月十四日開催）より